



## 届けよう！ コロナ禍の大学生生活アンケート 集計結果報告

全国大学生生活協同組合連合会

### ―― アンケート概要 ――

コロナ禍での大学生の頑張りと現状を社会や大学へ知らせるためのアンケートです。  
アンケート結果は、大学生協としての具体的な活動・政策の検討につなげ、学生生活サポートに活かします。

- 【調査方法】 Web 調査(回答協力を大学生協ホームページや SNS 拡散で呼びかけ)
- 【調査対象】 全国の大学生、大学院生(全国 245 大学から回答が集まった ※生協のない大学含む)
- 【調査期間】 2021年7月5日(月)～ 2021年7月19日(月)
- 【回答数】 7832 回答(うち 1～4年 7637、5年以上及び大学院生 195)  
※この報告では、回答者の 97.5%を占める1～4年の集計結果を記載した。

### ※アンケート結果についての注意点

- ・ 大学生協連で定期的実施している学生生活実態調査のように無作為抽出による統計データではなく、回答数の多い大学や学年があるなど偏りがあるため、必ずしも平均像を代表するものではない。
- ・ 匿名アンケートのため、学生以外の回答や複数回答、不適当な回答などの可能性は排除できない。
- ・ 「2019 秋」「2020 秋」のように「秋」としているものは、無作為抽出で行った学生生活実態調査の統計データ。
- ・ 「2020 夏」「2021 夏」のように「夏」としているものは、コロナ禍のため臨時に行ったアンケートで、前述の通り必ずしも平均像を代表するものではない。
- ・ 「秋」データと「夏」データは同列に比較できないが、この報告では敢えて傾向をコメントした。
- ・ <自由記入欄から>は、次の設問の回答から特徴的、代表的な声を掲載した、
  - 1) コロナ禍のあなたが頑張っていること、全国の大学生・院生に伝えたいこと、何でも書いてください。
  - 2) 大学・社会・国に対して言いたいこと・伝えたいことを教えてください。
  - 3) 後輩への大学生生活のアドバイスをぜひ、お願いします。

### 【回答者属性】

大学所在地	1年	2年	3年	4年	総計
北海道	80	107	62	27	276
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	55	40	33	20	148
茨城・栃木・群馬・新潟・山梨・長野	102	67	30	22	221
埼玉・千葉・神奈川	83	62	58	47	250
東京都	408	404	350	320	1482
岐阜・静岡・愛知・三重	91	87	78	41	297
富山・石川・福井	216	67	44	27	354
京都・滋賀・奈良	658	484	484	401	2027
大阪・兵庫・和歌山	328	173	124	73	698
鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知	514	294	165	118	1091
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	318	216	173	86	793
総計	2853	2001	1601	1182	7637

- ・ 回答者総数は 7832 人、うち 1 年～4 年が 7637 人で全体の 97.5%。5 年以上及び大学院は 195 人。
- ・ この報告では、主に 1 年～4 年の集計結果を報告する。
- ・ 性別: 男性 2805 人、女性 4420 人、答えない・無回答が 412 人だった。
- ・ 学部・研究科系統: 文科系 4456 人、理工系 1977 人、医歯薬系 398 人、その他・無回答が 806 人だった。
- ・ 住まい形態: 一人暮らし 3680 人、自宅通学 3675 人、その他・無回答 282 人だった。

## たすけあい川柳 (2021年7月17日結果発表)

<https://kyosai.univcoop.or.jp/kyosai-senryu2021/>


**大学生協の学生総合共済**

第4回
 聞かせてください。身近な“たすけあい”を。

たすけあい川柳  
結果発表!!

たくさんのご応募ありがとうございました

6月1日から6月30日まで、たすけあいの実感を広げる企画として「たすけあい川柳」を募集しました。5年ぶりの開催となった今回は、全国から158件のご応募がございました。

“たすけあい”の想いが込められた川柳をご応募いただきありがとうございました。

入選されたのは、下記の作品です。



たすけあいって、いいなあ。

👑 最優秀賞

どうしたの？ 独りにさせない 合言葉

ロータヌさん

👑 優秀賞

ビデオON みんなの笑顔に ほっとする

みかんさん

マスクでも 君の笑顔を 守りたい

べじたぶるさん

「大丈夫？」 その一言が 嬉しくて

ナポリタンさん

👑 特別賞

辛い時 君の笑顔で 力わく

フレミアさん

机拭き 次の人への 思いやり

しいさん

コロナ禍で でんわ相談 気が晴れた

めんたいごさん

「たすけあい」 あなたとわたしの 「おもいあい」

びんちゃんさん

どこに座る？ 怪我した友の お盆もち

ふくちゃんさん

アンケートとはほぼ同時期に、大学生協では「たすけあい川柳」コンテストを行った。

コロナ禍の大学生生活が応募作にも色濃く影響しているので、紹介する。

なお、大学生協共済連のWEBサイトでは、次のような記事を掲載している。

## ANNUAL REPORT

(共済事業報告)

- ・給付状況や傾向
- ・給付を受けた方の声(たすけあいアンケート)
- ・学生生活無料健康相談テレホンの報告

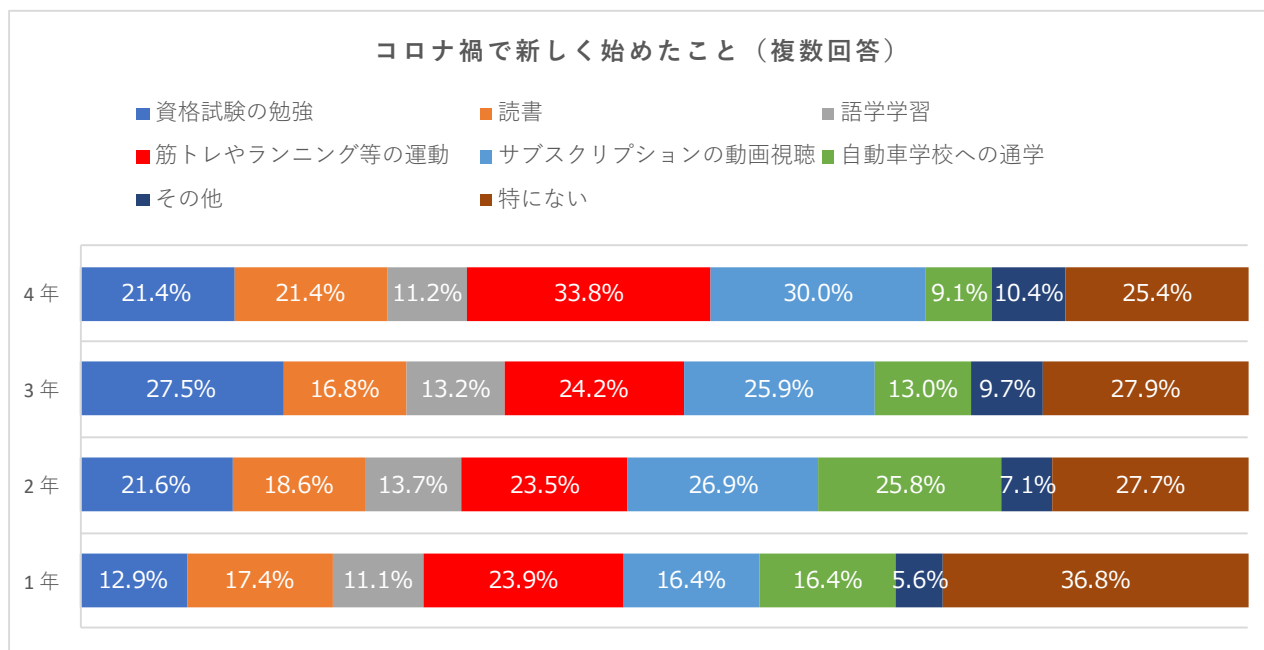
ニュース例(2021.6/22)

新型コロナウイルス感染症に関する保障やからだの不調、気になることなどはありませんか？

- ・新型コロナウイルス感染症に対する大学生協の保証
- ・学生生活無料健康相談テレホン案内(専門医、臨床心理士などが体調もメンタルヘルスにも対応)

## (1) コロナ禍で新しく始めたこと、収束したらやってみたいこと

- 新しく始めたことを見ると、時間を有効活用しよう、前向きに使おうという傾向のようだ。
  - ・ 読書、語学、資格など、知的活動に使う人はかなり多い。
  - ・ 運動は意識的にやっているようだ。
  - ・ その他の回答で目立ったもの：パソコンスキル磨き、プログラミング独学、ギター、料理。
- 収束したらやってみたいことは、なるほどという結果。1～2年で留学、アルバイトが多いことが特徴。
  - ・ その他の回答で目立ったもの：友人と食事・飲み会、マスクをせずに外出したい、帰省、ライブ、カラオケ。



コロナが収束したらやってみたいこと（複数回答）

	1年	2年	3年	4年	総計
国内旅行に行く	77.1%	79.8%	75.9%	78.3%	77.7%
海外旅行に行く	51.1%	58.9%	56.3%	61.8%	55.9%
友人とリアルで会う	56.5%	58.2%	56.4%	65.8%	58.4%
留学に行く	28.8%	24.8%	17.9%	11.6%	22.8%
アルバイトをする	29.2%	17.9%	13.0%	12.7%	20.3%
自動車学校に通う	15.7%	7.7%	6.1%	4.1%	9.8%
その他	3.6%	5.2%	5.5%	5.2%	4.7%
特にない	5.5%	4.1%	5.2%	3.7%	4.8%
回答人数	2853	2001	1601	1182	7637

## (2) 頑張っていること、伝えたいこと…自由記入欄より

『コロナ禍でのあなたが頑張っていること、全国の大学生・院生に伝えたいこと、何でも書いてください』の回答から、代表的なものを紹介する。

- アルバイトや授業の課題・復習に追われているが、8月に中国の大学へのオンライン留学を予定しているため、そのための事前準備として映像授業などを受けて勉強している。[大阪府/文科系/女性/1年]
- コロナ禍での新しい学祭運営。やはり、後ろ指を指されたり批判されたりすることもあるけど、少しでも私たちの生活に明るいことがあれば、コロナ禍を楽しめると思います。コロナ禍前の学祭をしようと思っているわけでは全然なくて、with コロナ、今の状況でも楽しめる学祭を考えたい。[京都府/文科系/女性/3年]

- コロナ禍で辛い思いをされている方がほとんどだと思いますが、飲食店の接客で笑顔で気持ちよく食べてもらえるように頑張っています。提供のスピード、座席やトイレなど細かいところまできれいにすること、気持ち良い挨拶や笑顔など、お客様を第一に思って一生懸命働いています。結構疲れますが達成感があります。[大阪府/文科系/女性/1年]
- コロナ禍の中実家が香川に移り、数ヶ月間大学や友達から離れた場所でオンライン授業を受けたが、その中でもオンラインで友達とゲームや飲み会をして何とか繋がりを保ち続けた。生きるためにも人は常に他者との交流が必要だと痛切に感じた。自分はコロナ禍前からの友達がいたが、コロナ禍で友達を作る機会を失っている下回生が心配でならない。[京都府/文科系/女性/3年]
- ゼミ活動。オンラインだからこそ、遠くに住む講師の方々を呼んでの講演会を主催するなど、できることが広がった。資格試験の勉強や読書も頑張っている。[茨城県/文科系/女性/4年]
- たまたま地方大学への進学で、住んでいた東京よりも学校に行く機会は多く、学食をよく利用した。授業自体はオンラインが多かったが、学校に行く機会があったことで友達もできた。特に実験は最初から対面授業ができ、地方の大学でよかったと思う。[山口県/理工系/男性/2年]
- ニュースなどでは、若者が特にコロナを広めているとして批判的になっている。そんな社会の中で、懸命に日々の生活を送っている事こそが頑張っている事だと思う。[大阪府/無回答/無回答/3年]
- ボランティア活動として、週に1日ほど家庭の事情などで塾に通えない小中学生に勉強を教えています。自分が大学生になるために培ってきた学力を還元できて社会から拒絶されていないと実感できていることはとても嬉しいです。[熊本県/理工系/男性/2年]
- 家にずっといるようになり暇な時間が増えたため、英会話講座や英語資格試験講座を受けた結果、TOEIC285点スコアアップすることが出来た。またオンライン海外研修で、家にいながら英語で外国の人と協力しながらイベントを企画、運営した。[東京都/文科系/女性/2年]
- 既に終了しましたが、コロナ禍での就職活動に全力を注ぎました。ずっと自宅にいる事を活かして、90社近くの企業の選考に参加し、毎日エントリーシートを書いたり面接を受けたりしていました。[京都府/文科系/男性/4年]
- 久々の登校日だからおしゃれする[大阪府/文科系/女性/4年]
- 昨年度の4月から、徒歩15分のバイト先と必要最低限の買い物しかしてません。3、4年生は沢山お出かけしようと思い、1、2年生の時に沢山授業を取ったにも関わらず、それが全ておじゃんになりました。ずっと家で友達にも会えない生活を送ってます。[東京都/文科系/女性/4年]
- 自分たちの代もコロナでサークルが思うようにできなかつたけれど、今年は先輩として、サークルの役員として、沢山の1年生に参加して楽しんでもらえるようみんなで試行錯誤しながら頑張っています！！[富山県/文科系/女性/2年]
- 対面授業がなくても朝にちゃんと起きる、ニュースを見る、ご飯を3食べる、勉強をする、ちゃんと夜寝るなど、基本的な生活をちゃんとして、自分の心身の健康に気を使っている。[愛媛県/理工系/女性/2年]
- As an international student, I feel extremely blessed to have this great chance to be able to study in Kyoto University despite the ongoing pandemic situation. I don't mind at all with everything going online at the university. In fact, I prefer online class compared to face-to-face class. I have a family living here so I make sure every single day that I do whatever I could do to protect them from this virus. Washing hand regularly, carrying hand sanitizer and disinfectant spray wherever I go, wearing mask whenever going out, minimizing unnecessary travel, cleaning the apartment, etc. It's good that Japanese people are obedient on the "Three C's" from the government. It definitely helps in pressing down the number of cases. I wish all people living in Japan will continuously walk hand in hand to battle this virus and win!  
(和訳)コロナ禍にもかかわらず、京都大学で学ぶことができる素晴らしい機会に、留学生として非常に恵まれていると感じています。京都大学ではすべての授業がオンライン化されていますが、私はまったく気になりません。むしろ対面式の授業よりもオンライン授業の方が好きです。私には家族がいるので、新型コロナウイルスから家族を守るためにできることは何でもするように毎日心がけています。定期的に手を洗い、どこに行くにも手指消毒剤や消毒スプレーを携帯し、外出時にはマスクを着用し、不要な移動を最小限に抑え、アパートの掃除をするなどです。日本人が政府の呼びかける「三密回避」に従うのは良いことだと思います。これは感染者数を減らすのに役立つでしょう。日本に住むすべての人々が、手を取り合って新型コロナウイルスと戦い、勝利することを願っています。[京都府/理工系/留学生]

### (3) 登校日数

- 全体では登校日数は、やや増(回復)の傾向のようだ。
- 現2年は、2019秋5.0日 → 2020秋2.0日 → 2021夏2.6日。登校日数は微増している。
- 一方、現1年の2021夏は3.1日で現2年より多い。また昨年秋の2.0日よりも増えている。
- 現2年はオンライン授業の割合が他の学年よりも高いことが推定される。1.1日多い。
- 地域差がかなりあり、首都圏と九州は0日、1日が多い。実際は大学によるはずで、回答が多い大学や少ない大学があるため、大雑把な傾向として数字を見る必要がある。

<自由記入欄から>

- 私は2回生なのですが、対面授業がほとんどありません。ですが1回生は毎日登校していると聞いています。なぜ、学年・学科によってこんなにも対面とオンラインの差が生まれているのか、学費を同じ分だけ払っているのにどうしてこのような差が生まれるのか、理解できません。説明もなくオンライン授業ばかり続けられていて本当に辛いです。学校に行きたいです。[滋賀県/理工系/女性/2年]
- 授業形態が急に変わることもあって、大学に通う回数が予測しにくく、通学定期的購入に困る。インターンに行きたいけれど、東京や大阪での対面のものはできれば行きたくなくて困っている。

1週間の登校日数

	1年			2年			3年			4年			計		
	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏
0日	0.5%	23.6%	9.4%	0.4%	30.5%	18.3%	1.0%	25.4%	18.7%	4.2%	29.5%	33.9%	1.4%	27.1%	17.5%
1日	0.2%	21.0%	14.6%	0.3%	23.2%	15.8%	1.3%	25.2%	21.4%	18.4%	22.0%	26.1%	4.8%	22.8%	18.1%
2日	0.2%	19.3%	15.3%	1.1%	14.5%	16.2%	6.4%	16.2%	15.9%	11.5%	10.1%	11.8%	4.6%	15.3%	15.1%
3日	1.9%	14.6%	16.3%	5.7%	10.8%	15.5%	17.3%	11.0%	14.9%	11.3%	7.1%	8.7%	8.7%	11.2%	14.6%
4日	14.8%	9.7%	15.4%	24.2%	8.7%	14.7%	24.2%	8.1%	13.1%	11.4%	7.0%	4.8%	18.6%	8.4%	13.1%
5日	69.1%	9.4%	23.7%	59.0%	9.5%	15.3%	42.1%	11.1%	13.4%	31.2%	19.1%	10.2%	51.3%	12.0%	17.2%
6日	9.0%	1.8%	3.5%	6.1%	1.9%	2.6%	5.3%	1.6%	1.5%	7.9%	3.3%	2.6%	7.1%	2.1%	2.7%
7日	4.3%	0.6%	1.9%	3.2%	0.8%	1.5%	2.4%	1.3%	1.2%	4.0%	1.8%	1.7%	3.5%	1.1%	1.6%
平均	5.0日	2.0日	3.1日	4.7日	1.8日	2.6日	4.2日	2.0日	2.3日	3.5日	2.2日	1.7日	4.4日	2.0日	2.6日

1週間の登校日数 2021夏 (地域別)

	北海道	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	茨城・栃木・群馬・新潟・山梨・長野	埼玉・千葉・神奈川	東京都	岐阜・静岡・愛知・三重	富山・石川・福井	京都・滋賀・奈良	大阪・兵庫・和歌山	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	総計
0日	16.4%	6.0%	8.9%	17.1%	34.7%	8.6%	2.2%	9.0%	15.6%	13.7%	27.3%	17.3%
1日	22.9%	4.6%	11.2%	15.9%	25.3%	15.0%	9.8%	15.9%	20.0%	11.8%	23.7%	17.9%
2日	18.8%	11.3%	15.2%	22.2%	18.8%	14.1%	10.3%	14.6%	17.7%	9.9%	12.7%	15.0%
3日	14.0%	9.3%	21.4%	27.0%	10.2%	24.3%	8.9%	18.2%	12.5%	12.6%	12.4%	14.6%
4日	12.3%	27.8%	21.4%	7.5%	6.4%	17.9%	18.7%	16.7%	12.3%	13.0%	9.1%	13.0%
5日	11.0%	33.8%	18.8%	7.5%	3.7%	16.9%	41.9%	20.5%	16.2%	29.9%	12.4%	17.6%
6日	1.7%	4.6%	2.2%	1.6%	0.4%	2.6%	5.3%	3.2%	3.7%	5.6%	1.6%	2.8%
7日	2.7%	2.6%	0.9%	1.2%	0.4%	0.6%	2.8%	1.8%	2.1%	3.5%	0.9%	1.7%

#### (4) 学生生活は充実しているか

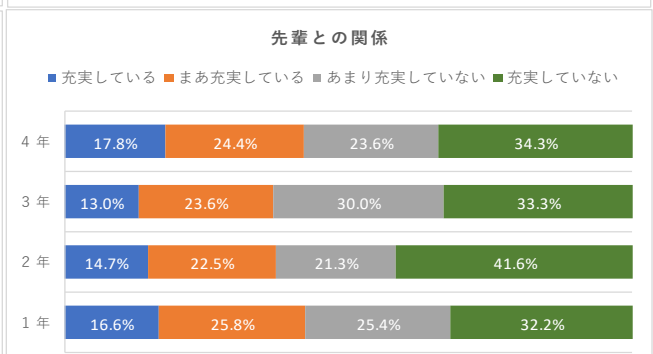
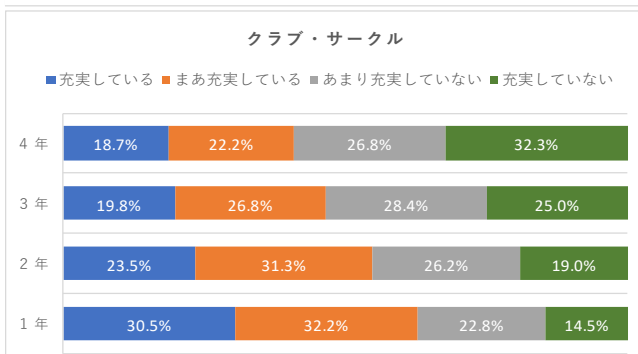
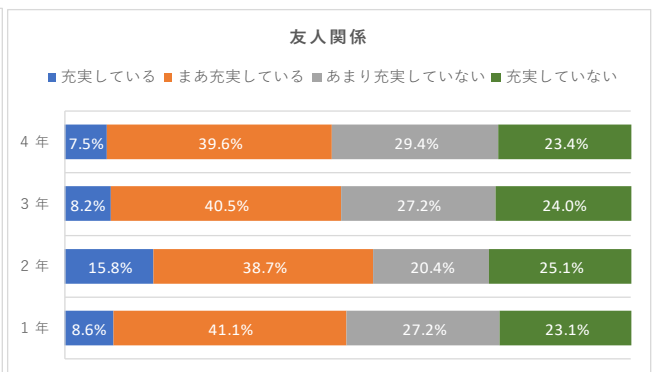
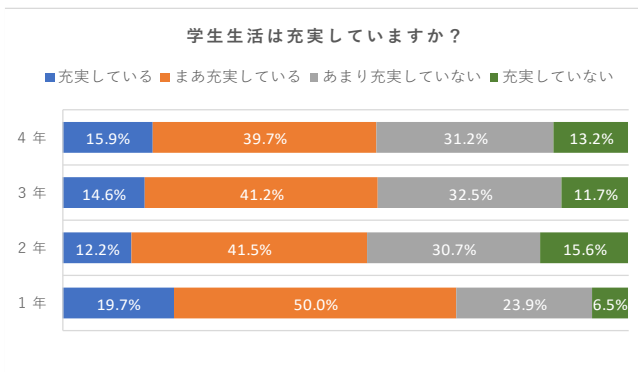
- 登校日数と同様、全体ではやや回復。
- しかし、現2年生の充実している計は、2019秋 89.3% → 2020秋 56.5% → 2021夏 53.8%で、2020秋から良くなっていない。
- 現2年以上は、2019秋→2020秋はやや減だが、2021夏は軒並み大幅減。充実していない割合も急増。コロナ禍の長期化のためかもしれない。

<自由記入欄から>

- 大学生活がこのまま、何もできないまま終わってしまうのかなあという不安があります。オンラインでも様々な活動ができ、もちろん充実しているとは思っているのですが、実感がない、というような感じがします。[徳島県/理工系/女性/2年]
- サークル活動が全く行われていないので、どんなやり方でもいいからサークル活動をしたい。同級生が日々どんな勉強をしているのかが全く分からないので、自分は勉強が足りていないのではないかと不安になる。[広島県/文科系/女性/2年]
- 2年生が1番酷。人生でいちばん楽しい大学生活が人生でいちばんしんどい生活に変わり、大学に来なければとさえ思う。学費の無駄。学費はどこに行っているのかわからない。お金の無駄。時間の無駄。返して欲しい[京都府/理工系/女性/2年]

学生生活は充実しているか

	1年			2年			3年			4年			計		
	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏
充実している	38.3%	13.6%	19.7%	34.3%	22.0%	12.2%	33.6%	26.1%	11.7%	36.1%	34.6%	13.2%	35.7%	23.3%	11.0%
まあ充実している	51.0%	42.9%	50.0%	53.7%	55.1%	41.5%	54.1%	55.5%	41.2%	54.0%	51.8%	39.7%	53.1%	50.9%	44.3%
充実している計	89.3%	56.5%	69.7%	88.0%	77.1%	53.8%	87.7%	81.6%	53.0%	90.1%	86.4%	52.9%	88.8%	74.2%	55.3%
あまり充実していない	8.7%	30.2%	23.9%	9.7%	18.3%	30.7%	10.4%	15.1%	14.6%	7.7%	10.9%	15.9%	9.1%	19.4%	16.1%
充実していない	2.0%	13.3%	6.5%	2.3%	4.6%	15.6%	1.9%	3.3%	32.5%	2.2%	2.7%	31.2%	2.1%	6.4%	28.6%
充実していない計	10.7%	43.5%	30.3%	12.0%	22.9%	46.2%	12.3%	18.4%	47.0%	9.9%	13.6%	47.1%	11.2%	25.8%	44.7%



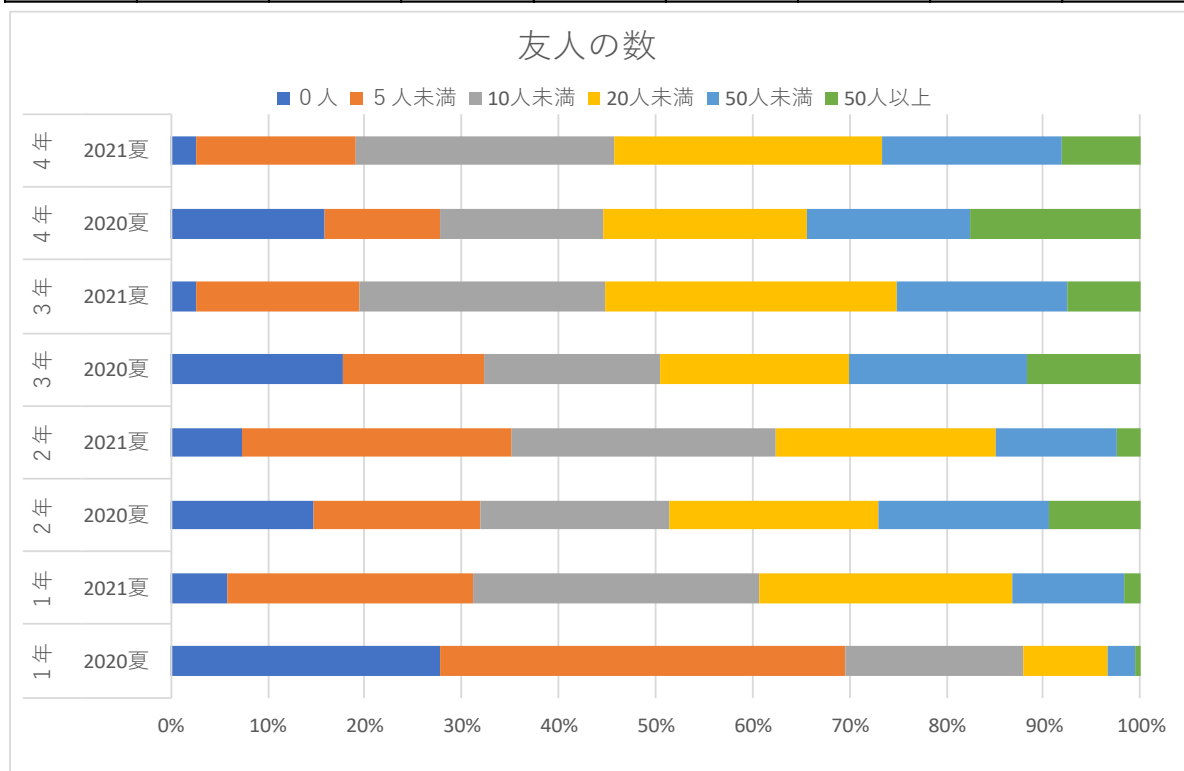
### (5) 友人の数

- 問いが若干異なるので単純比較できない面はあるが、次のような傾向と言える。
- 2020 夏の 1 年生 0 人 = 27.7% は衝撃的数字だった。2 年生以上とあまりに違ったから。
- 現 2 年は、2020 夏の 0 人 = 27.7% が、進級した 2021 年夏 = 7.3%。1 年間で友達づくりはある程度できたようだ。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続する中で少しずつつながりを作ったり、SNS やオンラインを活用する方法を使ったのだろう。
- 全体としては、コロナ禍での行動制約の中で友人作りは頑張っているが、1~2 年は 3~4 年に比べて友人の数は少ない傾向と言えそうだ。

※2020 夏質問：大学で新しい友達は何人くらいできましたか？

2021 夏質問：【1年】大学で友人は何人できましたか？ \ 【2年以上】いま大学の友人は何人いますか？

	1年		2年		3年		4年	
	2020夏	2021夏	2020夏	2021夏	2020夏	2021夏	2020夏	2021夏
0人	27.7%	5.8%	14.7%	7.3%	17.8%	2.6%	15.9%	2.6%
5人未満	41.9%	25.4%	17.3%	27.8%	14.6%	16.9%	12.0%	16.4%
10人未満	18.2%	29.6%	19.4%	27.3%	18.0%	25.2%	16.7%	26.6%
20人未満	8.8%	26.0%	21.6%	22.8%	19.6%	30.1%	21.1%	27.7%
50人未満	2.9%	11.6%	17.6%	12.4%	18.4%	17.7%	16.8%	18.6%
50人以上	0.4%	1.6%	9.4%	2.4%	11.6%	7.5%	17.5%	8.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



<自由記入欄から>

- 対面授業がある人とない人で大学での人間関係にかなり差ができてきていること。1 週間のうち何日も大学に通っている人は親しい友人もでき、先輩後輩や先生との交流もしてるが、全く通えていない人はどんどん孤立しているように感じる。[京都府/文科系/女性/2年]

- “友達がない”、“毎日学校で 1 人ぼっち”という方がいらっしやったら、どうかそのことをマイナスに捉えないで頂きたいです。  
私自身、入学してから周囲に馴染めずずっと単独行動で、ご飯食べるのも 1 人で、正直とても寂しかったです。でも他の人のために時間を縛られることはないし、好きなときに好きなことができます。休日も、1 人で気ままに買い物したり、散歩したりと気楽です。私はこれまでずっとそう過ごしてきて、今 4 回生です。  
“友達がない”、“1 人ぼっち” というのは必ずしも悪いことじゃなく、自分の時間を存分に楽しめる貴重なチャンスなので、この機会に 食べたい料理を作ってみるとか、好きな髪色に変えてみるとか、憧れていた楽器に挑戦してみるとか、推しのグッズ集めてみるとか、今まで周囲を気にして躊躇っていたことを楽しんで、充実した生活を送ってほしいです。卒業するときに、めちゃめちゃ楽しかった！と思えたら最高です。このご時世の中で大変ではありますが、皆様の素敵な学生生活を応援しています！[島根県/文科系/女性/4 年]
- 大学生は未だに孤独な生活を送っています。学校で共に学べるはずだった友達と会うこともできず、部活にも拘束がかり、留学や旅行など自由な時間が多いからこそできたことも制限され、狭いアパートの空間の中でただ日々を送るだけの毎日です。それでも学費はかわらず、オンライン授業により光熱費は上がり、どうして大学生だけこんな思いをしなくてはいけないのでしょうか。何か悪いことをしたのでしょうか。コロナから身を守ることはできているかもしれませんが、心の健康は保てていません。私以外にも希望や夢を持って地元を離れて来たものの、孤独に耐える生活を強いられている学生は沢山いると思います。社会に出る一歩手前にいる私達が、今、1 番社会から離されている環境で生きています。大学生の存在を忘れないで下さい。助けてください。[静岡県/文科系/女性/4 年]

## (6) 対面講義、オンライン講義について

- 対面講義、オンライン講義について感じていることについて、あてはまるものをすべて選んでもらった。回答人数に対する比率を表とグラフで示す。
- 全体的な傾向としては、オンライン講義はプラス評価、マイナス評価が分かれているが、対面授業はマイナス評価項目の率が比較的小さい。
- また、プラス評価項目は学年の差異が小さいが、マイナス評価項目は学年により特徴的な差異が見られる。
- 2年生は、マイナス評価項目が他学年より高い傾向にある。昨年春の入学時から今年夏まで大学生活のほとんどの期間がコロナ禍であることが背景にありそうだ。

<自由記入欄から>

- オンライン授業への疲弊が続き、かなり限界である。一方で周囲は「もうオンラインでいい」との声も多く、つらい。大学が遠いことも相まってうまく友人関係が作れておらず、つらい。[兵庫県/文科系/女性/2 年]
- 課題が多すぎる。先生方はオンライン授業になって学生を暇だと思っているかもしれないが、量の多い課題を複数の先生が出してくるので、結局自分の時間がなくなる。遊びに行くことも控えないといけないので、リラックスできない。[大分県/無回答/無回答/2 年]
- コロナ禍の一年半は大変なこともありますが、新しいものも見つかった期間だと思っています。例えば悪者にされがちなオンライン学習ですが、見直しができる、世界各地の学生とつながれる、体調が悪くても授業に参加できるといった利点もありました。予備校などではデジタル化が進んでいます。e ラーニングは大学でも有効な道具になるはず。コロナ禍には対処しつつ、デジタル化は進めていってほしいと思います。  
また、コロナ禍は貧困や孤立など大学生・大学院生が以前から抱えていた多くの問題を顕在化させたと思います。経済的・物的支援やメンタルヘルスへの対策など、必要なものは今後とも残していつてもらえたらと願っております。困難の多い状況ではありますが、包摂的で持続可能な「新しい大学生活のかたち」をともに創っていかれたらと思います。[京都府/文科系/男性/4 年]
- 通学用に定期券を購入したが、直後の緊急事態宣言による完全オンライン授業期間で、有効期間の半分ほどが無駄になった。現在も、定期券を更新するか否かで悩んでいる。持参の弁当を食べる場所が少ない。教室解放はされているが、昼休みの 50 分間しか使えないため人が集中する。夏の暑い中屋外にはとどまりたくないが、注文しないのに食堂を使うのも後ろめたく、場所に悩む。[滋賀県/文科系/女性/2 年]



- オンライン授業の質が高いのでとにかく勉強に打ち込む毎日です。求められることは多く、友人と会えず孤独に感じることもあります。オンラインで通学時間がほぼないことを強みになんとか頑張っています。[東京都/文科系/答えない/2年]
- 全体的に困ってます。でもそんなわがままは言わないので、授業だけ対面にしてほしいです。学食の利用とか、色んなことを制限してもらって大丈夫なので、全面对面授業にしてほしい。それから、今までの授業(私の場合は1年生の時のもの)を、単位もは関係なくもう一度、対面で受けられるようにしてほしい。それ以外にも、今までの時間に追いつくようなサービス、対策をしてほしい。[大阪府/文科系/女性/2年]
- 非対面授業は思ったよりメンタルケアが大変なので頑張ってください[東京都/文科系/男性/2年]
- オンラインだし…と嘆かないで！結構楽しいですよ。あとやっぱり楽しいですよ！！！！！！オンライン！気持ち次第で集中もできます。[岐阜県/文科系/女性/1年]

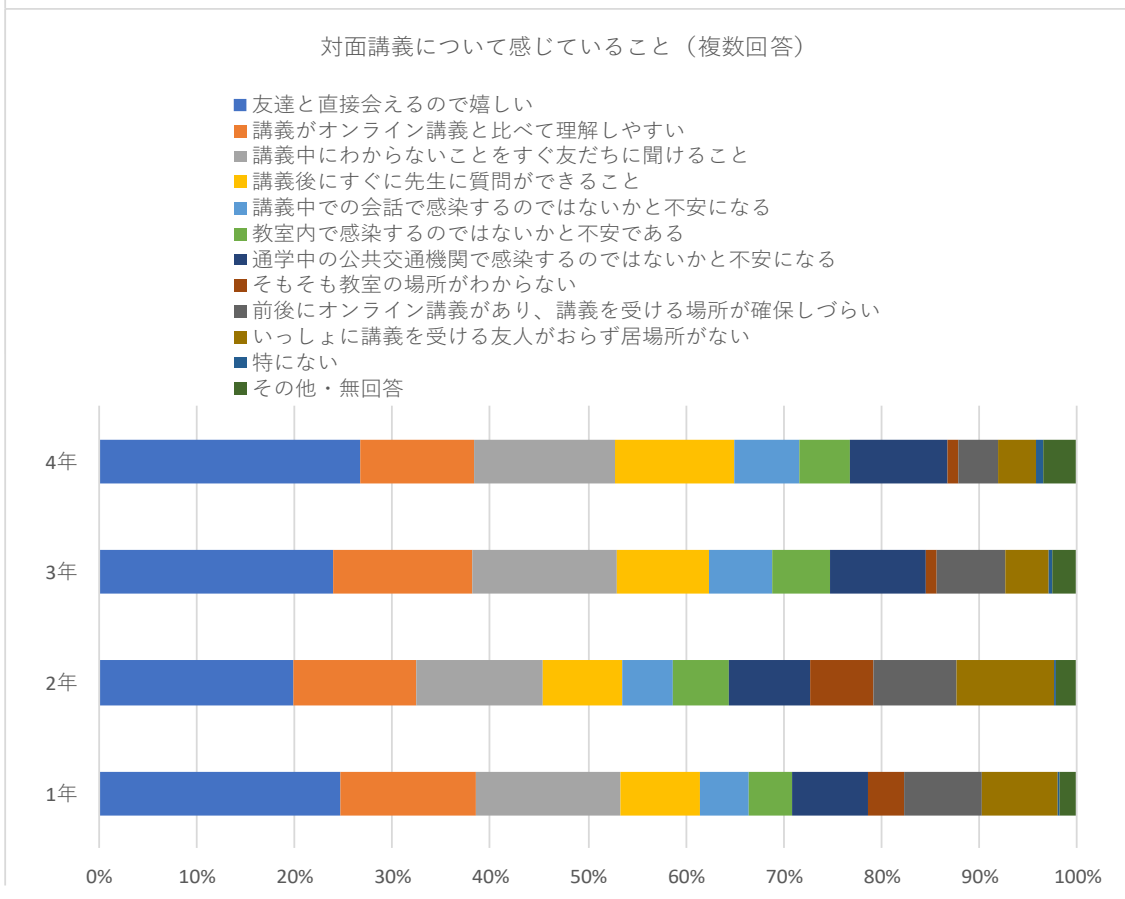
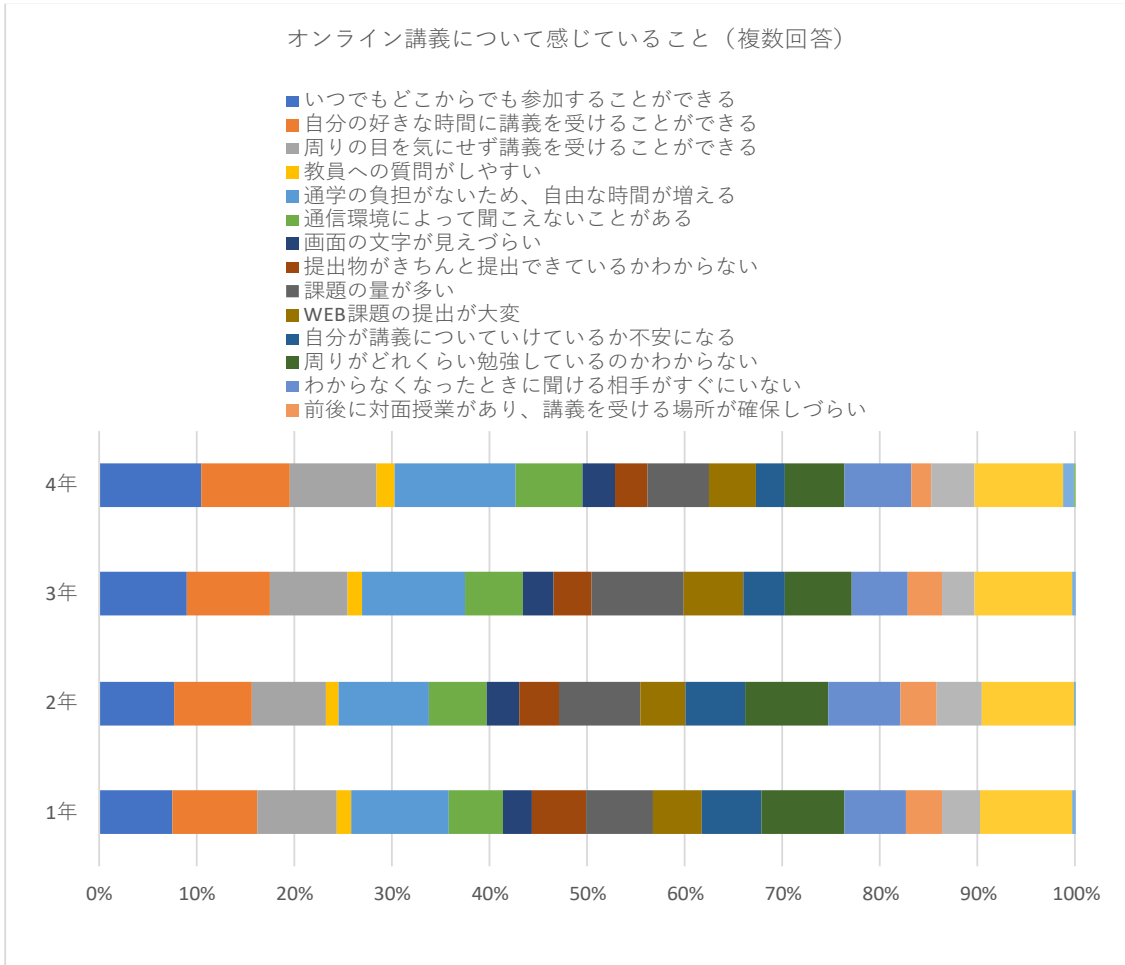
(+) = プラス評価項目 (-) = マイナス評価項目 色付きは特徴的な数字

※次ページにこの数表のグラフを示した。

オンライン講義について感じていること (複数回答)	1年	2年	3年	4年	総計
(+) いつでもどこからでも参加することができる	47.2%	50.3%	53.1%	52.3%	50.0%
(+) 自分の好きな時間に講義を受けることができる	54.6%	53.1%	51.2%	44.8%	52.0%
(+) 周りの目を気にせず講義を受けることができる	51.3%	50.0%	46.6%	44.1%	48.8%
(+) 教員への質問がしやすい	8.6%	8.9%	9.1%	9.9%	9.0%
(+) 通学の負担がないため、自由な時間が増える	63.1%	60.7%	62.3%	61.6%	62.1%
(-) 通信環境によって聞こえないことがある	35.2%	38.8%	36.0%	34.4%	36.2%
(-) 画面の文字が見えづらい	18.2%	21.6%	18.7%	16.1%	18.9%
(-) 提出物がきちんと提出できているかわからない	34.2%	27.0%	23.2%	17.2%	27.4%
(-) 課題の量が多い	44.1%	55.2%	55.2%	31.2%	47.3%
(-) WEB課題の提出が大変	30.8%	30.4%	37.4%	24.0%	31.0%
(-) 自分が講義についていけないか不安になる	37.7%	40.5%	25.2%	14.6%	32.3%
(-) 周りがどれくらい勉強しているかわからない	53.6%	55.9%	40.0%	30.5%	47.8%
(-) わからなくなったときに聞ける相手がすぐいない	39.5%	49.0%	35.0%	33.8%	40.1%
(-) 前後に対面授業があり、講義を受ける場所が確保しづらい	24.0%	24.1%	20.0%	10.3%	21.1%
(-) 教員への質問がしづらい	24.4%	30.8%	20.6%	22.5%	25.0%
(-) 集中力が対面講義に比べて続かない	58.8%	62.4%	59.4%	45.3%	57.8%
特になし	1.9%	0.8%	1.4%	5.5%	2.1%
無回答	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	0.1%
回答人数	2853	2001	1601	1182	7637

対面講義について感じていること (複数回答)	1年	2年	3年	4年	総計
(+) 友達と直接会えるので嬉しい	62.4%	54.8%	61.8%	61.3%	60.1%
(+) 講義がオンライン講義と比べて理解しやすい	34.6%	35.0%	37.2%	26.8%	34.0%
(+) 講義中にわからないことをすぐ友だちに聞けること	37.3%	35.4%	38.0%	33.2%	36.3%
(+) 講義後にすぐに先生に質問ができること	20.8%	22.6%	24.4%	28.0%	23.1%
(-) 講義中での会話で感染するのではないかと不安になる	12.4%	14.5%	17.1%	15.7%	14.4%
(-) 教室内で感染するのではないかと不安である	11.5%	15.4%	14.9%	11.6%	13.3%
(-) 通学中の公共交通機関で感染するのではないかと不安になる	19.5%	23.0%	25.5%	23.1%	22.2%
(-) そもそも教室の場所がわからない	9.3%	17.8%	2.7%	2.4%	9.1%
(-) 前後にオンライン講義があり、講義を受ける場所が確保しづらい	20.2%	23.7%	18.6%	9.4%	19.1%
(-) いっしょに講義を受ける友人がおらず居場所がない	19.5%	27.6%	11.3%	9.1%	18.3%
特になし	0.6%	0.3%	0.9%	1.5%	0.7%
その他・無回答	4.3%	5.9%	6.6%	8.0%	5.7%
回答人数	2853	2001	1601	1182	7637

※前ページ表のグラフ。



## (7) アルバイト

### 1. アルバイト収入

- アルバイト収入0円～3万円未満が増えている。学年が低いほど、その傾向が強い。
- 逆に、3万円以上の割合は減っている。
- シフト減、解雇、アルバイト先が見つからないの声は多く、アルバイトが厳しい状況は2020年春から2021年夏も続いており、むしろやや悪化傾向にあるようだ。

#### この1か月のアルバイト収入

	1年			2年			3年			4年		
	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏	2019秋	2020秋	2021夏
0円	23.2%	38.2%	56.1%	15.8%	20.4%	25.0%	16.4%	22.0%	23.7%	20.3%	27.1%	29.8%
2万円未満	7.0%	5.5%	14.0%	6.0%	6.6%	14.5%	5.4%	6.0%	14.4%	5.7%	6.1%	18.3%
2万円～	8.6%	5.7%	8.9%	7.6%	6.9%	12.8%	8.2%	7.0%	12.1%	7.6%	6.9%	11.3%
3万円～	12.6%	9.4%	7.0%	12.5%	11.6%	11.9%	13.1%	13.4%	11.6%	11.2%	10.4%	8.8%
4万円～	10.0%	6.1%	5.1%	10.7%	10.1%	11.8%	9.8%	8.7%	9.6%	8.4%	8.3%	9.8%
5万円～	16.0%	11.8%	4.9%	22.0%	19.1%	12.0%	20.1%	19.1%	13.0%	18.4%	16.3%	8.6%
7万円～	9.3%	8.4%	3.9%	15.3%	13.1%	11.8%	15.3%	11.7%	15.5%	18.2%	13.6%	13.4%

### 2. アルバイトの状況

- 収入減が2年以上で目立つ。
- 解雇、退職はさほど多くないが、アルバイト口探しは苦労しているようだ。

#### アルバイトの状況（複数回答）

	1年	2年	3年	4年	総計
アルバイトをしたいが希望のアルバイトに就労できない	8.5%	10.6%	6.7%	5.7%	8.2%
緊急事態宣言・まん延防止措置でアルバイトを解雇された	0.2%	0.7%	1.8%	1.9%	0.9%
緊急事態宣言・まん延防止措置でアルバイトを退職した	0.5%	2.5%	3.4%	4.8%	2.3%
緊急事態宣言・まん延防止措置でシフトが減り、収入が減った	8.0%	22.6%	28.6%	30.2%	19.6%
緊急事態宣言・まん延防止措置でシフトが増え、収入が増加した	1.2%	2.2%	3.7%	3.2%	2.3%
そもそもアルバイトをしていない	51.4%	20.2%	19.4%	22.2%	32.0%
特に困っていない	34.9%	49.0%	44.5%	41.3%	41.6%
回答人数	2853	2001	1601	1182	7637

#### <自由記入欄から>

- バイトがなくてお金が無いから外食が全然できない。外食で気分転換ができない上に、課題のせいで友達と遊ぶ時間もろくにないから、ずっと気分が落ち込んでいる。夜寝付けないのに朝起きられない。味覚がない訳じゃないけどずっと時短レシピ食べてたら全然美味しく感じなくなってきた。[京都府/理工系/女性/3年]
- 今ではありませんが、近日までバイト探しに苦労していました。バイトの募集が大学に集まると嬉しいです。[山形県/理工系/女性/1年]

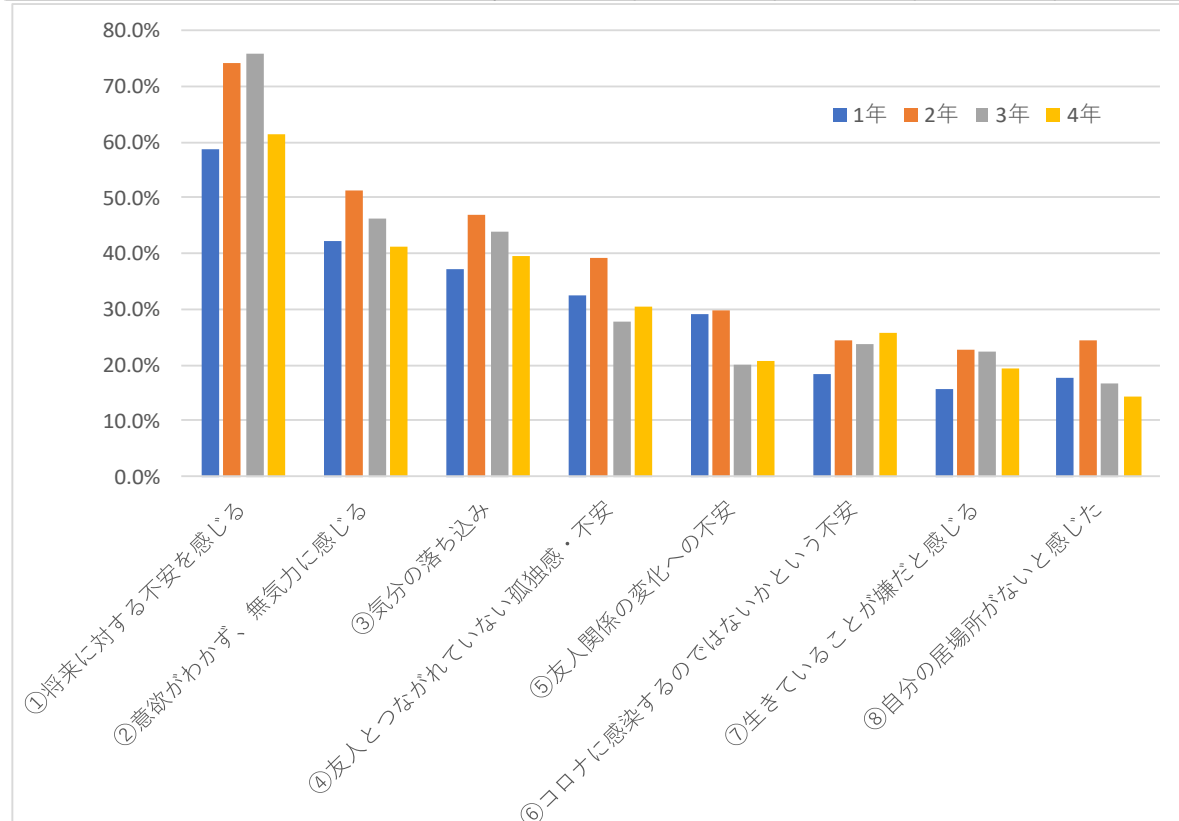
## (8) 不安

### 1. 不安に思っていること

- 友人関係への不安は、1年と2年が強い。
- グラフの通り、①と⑥以外は、すべて2年が最も大きい数字となった。
- 2年の無気力、落ち込み、孤独感などが他学年より大きい。全般にこの傾向がある。
- 3年は将来不安が大きい。就職への不安と関係していそう。

#### 不安に思っていること（複数回答）

	1年	2年	3年	4年	総計
①将来に対する不安を感じる	58.7%	74.1%	75.8%	61.3%	66.7%
②意欲がわからず、無気力を感じる	42.2%	51.4%	46.2%	41.2%	45.3%
③気分の落ち込み	37.3%	47.1%	43.8%	39.5%	41.6%
④友人とつながれていない孤独感・不安	32.5%	39.2%	27.7%	30.5%	33.0%
⑤友人関係の変化への不安	29.0%	29.9%	20.2%	20.6%	26.1%
⑥コロナに感染するのではないかという不安	18.5%	24.5%	23.7%	25.7%	22.3%
⑦生きていることが嫌だと感じる	15.6%	22.7%	22.4%	19.5%	19.5%
⑧自分の居場所がないと感じた	17.8%	24.3%	16.7%	14.4%	18.7%
⑨特に不安はない	18.3%	10.2%	11.2%	16.5%	14.4%
⑩その他	2.5%	2.7%	2.4%	1.9%	2.4%
回答人数	2853	2001	1601	1182	7637



<自由記入欄から>

- 国立大入試の頃からコロナが流行し始め、入学式と最も楽しみにしていた新入生歓迎会が中止になりました。入学後の授業は殆どがオンライン形式で、同じ学科の友達と顔を合わせることもなく大量の課題を自宅でひとり黙々とこなす日々が続きました。課題の多さから、一日の中で食事以外の時間はずっと机に向かっていまし

た。毎日気分が落ち込んで、夜中に泣きながら課題に取り組んだことも多々あります。しかし感染症というある意味で「自然災害」であり、全員が被害者だと思うので、親にすら愚痴をこぼすことを申し訳なく感じ、感情のやり場がどこにもありません。辛いです。

一方で家族からは、「オンライン授業で一日家にいる＝暇」という偏見をなぜか受けており、受講と課題で忙しいと伝えてもそのイメージが払拭されません。実家を離れ一人暮らしをしているので、こちらの生活が見えづなかなか理解されにくいのだと思うのですが、このような扱いを受けることが一番苦しいです。

長々と書いてしまいましたが、要するに大学生の置かれている状況があまりにも社会に認知されていないように思います。主に若年層がウイルスを媒介しているという報道から、大学生が真っ先に活動を制限されました。大学 1,2 年生は孤立感を抱いている学生が殆どだと思います。つらい現状を多くの人に理解してほしいです。  
[広島県/理工系/女性/2 年]

- 1 年生の時はコロナが騒がれておらず、全て対面で授業をすることが出来て充実していた。2、3 年になってコロナの影響が学生生活に現れ、オンラインになったりアルバイトが出来なくなったりした。2、3 年の演習が 1 番大事なのに、それを対面で行えないことが就職してからの不安に繋がっている。[青森県/医歯薬系/女性/3 年]
- 大学入学のタイミングでコロナ禍へ陥ったので、「大学がどんなものか」がそもそもわからない。例えば課題が多いことが悩みであるが、全て対面だったとしてもこれくらいの課題が出ていたのではないかと考えると、課題が多いと感じるのはただの怠惰なのではないかと悩んでしまう[東京都/文科系/女性/2 年]

## 2. インターンシップや就職活動で不安に思っていること

- やはり 3 年生は現実問題として不安が大きいことが、はっきりとわかる。

<自由記入欄から>

- 今 3 年生で就活の情報がどんどん入ってきているが、本来の就活のやり方はおろか、オンラインでの就活のやり方が分からず、聞ける人もいないので不安に感じている。[兵庫県/文科系/女性/3 年]

### インターンシップや就職活動で不安に思っていること（複数回答）

	1年	2年	3年	4年	総計
オンラインでの就職活動のやり方がわからず不安	27.7%	52.4%	53.0%	19.4%	38.2%
企業の業績悪化で、採用状況が見通せず、将来に対して不安である	25.9%	41.1%	40.3%	24.8%	32.7%
オンラインだけでは社風や働く環境が分かりづらく、入社後のギャップ等が不安	20.3%	34.3%	47.4%	37.1%	32.3%
インターンシップに直接行けず、就職活動をうまく始められないのではないかと不安	18.2%	31.7%	41.7%	12.9%	25.9%
対面でのイベントや説明会が中止になるなどで、企業との直接接点がなくなることへの不安	17.4%	28.5%	32.9%	17.9%	23.6%
特に不安はない	50.0%	25.4%	17.2%	40.4%	35.2%
その他	4.5%	3.9%	4.9%	6.0%	4.7%
回答人数	2853	2001	1601	1182	7637

## 2. 最近の体調で気になること

- 「やる気が起きない」が、どの学年でも最多で気になるところ。
- 目の疲れも多い。自由記入欄では、オンライン講義で目の負担が辛いというものがあった。
- 不眠、食欲がないは、比較できる過去数字がないが、多い印象。

## 最近の体調で気になること（複数回答）

	1年	2年	3年	4年	総計
やる気が起きない	42.0%	49.8%	45.2%	41.5%	44.6%
ストレスを感じる	31.7%	43.2%	40.8%	37.8%	37.6%
イライラする	15.7%	23.0%	20.8%	17.1%	18.9%
不眠	18.3%	24.1%	21.4%	20.6%	20.8%
食欲がない	11.0%	12.8%	11.6%	12.4%	11.8%
だるさ	30.5%	37.7%	35.2%	29.4%	33.2%
目の疲れ	37.7%	42.1%	38.4%	34.7%	38.5%
肩こり	25.4%	29.9%	27.8%	28.9%	27.6%
頭痛がある	16.5%	19.7%	18.2%	17.9%	17.9%
腹痛下痢になりやすい	17.2%	18.0%	15.7%	18.2%	17.3%
便秘	13.3%	15.5%	12.1%	13.5%	13.7%
めまい	10.2%	10.5%	9.5%	9.5%	10.0%
ふらつき	7.8%	8.0%	7.0%	6.0%	7.4%
吐き気	3.1%	4.3%	3.7%	4.1%	3.7%
手足のしびれ	2.3%	3.2%	2.9%	3.0%	2.8%
寒気	1.0%	1.6%	1.3%	0.9%	1.2%
その他	2.7%	3.7%	2.7%	2.3%	2.9%
特に気になることはない	23.0%	18.1%	21.0%	21.7%	21.1%
回答人数	2853	2001	1601	1182	7637

## 3. 感染不安を感じる場面、感染対策

- 外出控え、マスクなど、他への配慮も含め、しっかり感染対策している様子だ。
- 若者の外出や路上飲みなどの報道も目立つが、多くの学生はそうじゃないよとの声も多くあった。
- ワクチンは、“接種派”が9割ほどで、「摂取したくない」は1割程度。

## &lt;自由記入欄から&gt;

- コロナ感染への懸念から、学食を利用することに不安があり、利用できていない。利用者によると、学食内は席同士の距離が近く、話をしている学生が多いという。[愛媛県/文科系/女性/4年]
- 周囲の大学では学生や職員へのワクチン接種が始まっているが、私の通う大学では対応がないため、接種の見通しが立たない。私は就職活動で頻繁に道外に出る機会も多く、早くワクチンを接種したいと思っているが、20代が市町村の接種を受けられる見通しはまだまだ先である。[北海道/文科系/女性/4年]
- ワクチンを打たない人に差別的になるような規則を作らないで下さい。ワクチンを打てば割引、海外へ行く時はワクチン接種が義務など。私はワクチンは出産における胎児へ及ぼす影響や副反応の関係から自身でよく調べた上、ワクチン接種は見送ろうと考えています。それでも危機感がないわけではなく、マスク着用や消毒などできる限りのことはやっています。ワクチンを打つと決めた人も打たないと決めた人も、それぞれが自分でよく考えて決めたことならば、尊重すべきかと思います。私は打たない派の人間ですが、打つと決めた友人や家族が安心した姿を見ると嬉しいですし、その判断を尊重したいと思っています。[北海道/文科系/女性/1年]

感染不安を感じる場面（複数回答）

	1年	2年	3年	4年	総計
公共交通機関等で通学しているとき	33.2%	47.4%	37.4%	43.2%	39.4%
学内の食堂で食事をしているとき	26.5%	37.8%	23.8%	20.4%	27.9%
学内のオープンスペース等で食事をしているとき	10.6%	15.1%	10.9%	11.3%	11.9%
対面で講義を受けているとき	18.3%	26.1%	21.8%	14.6%	20.5%
クラブやサークル活動をしているとき	9.8%	14.0%	10.6%	6.2%	10.5%
アルバイトをしているとき	7.5%	10.7%	23.7%	26.3%	14.7%
その他	0.8%	1.1%	1.3%	1.9%	1.2%
特に不安はない	41.3%	58.8%	35.3%	32.7%	43.3%
回答人数	2853	2001	1601	1182	7637

感染予防と拡大防止の行動として何をしているか（複数回答）

	1年	2年	3年	4年	総計
手洗い	92.5%	92.2%	91.9%	94.8%	92.7%
手指の消毒	86.7%	87.6%	86.3%	88.8%	87.2%
外出時のマスクの着用	91.1%	90.7%	90.4%	91.7%	90.9%
うがい	58.6%	59.9%	63.5%	63.5%	60.7%
体温を毎日計測する	24.6%	19.7%	20.4%	23.0%	22.2%
不要不急の外出を控える	48.5%	47.9%	49.8%	51.6%	49.1%
複数名で集まらない	33.0%	35.3%	39.9%	42.0%	36.4%
複数名での外出をしない	32.1%	32.7%	36.9%	37.9%	34.2%
人との距離をできるだけとる	38.0%	42.1%	46.4%	50.9%	42.8%
体調不良時は自宅で待機・安静に過ごす	35.4%	39.0%	39.9%	44.7%	38.7%
睡眠を十分にとる	30.1%	28.4%	26.8%	36.5%	30.0%
適度に体を動かす	29.6%	25.3%	25.5%	29.5%	27.6%
バランスのいい食事を心がける	23.0%	21.3%	18.2%	22.6%	21.5%
ワクチンを接種した	12.0%	11.8%	13.3%	12.6%	12.3%
毎日の行動記録をつける	4.4%	3.6%	3.9%	4.7%	4.2%
対策は何もしていない	0.8%	1.1%	0.8%	0.6%	0.9%
その他	0.4%	0.8%	0.5%	0.9%	0.6%
回答人数	2853	2001	1601	1182	7637

ワクチン接種

	1年	2年	3年	4年	総計
接種したい	41.8%	42.8%	43.3%	47.8%	43.3%
すぐにでなく、いずれ接種したい	31.0%	31.6%	29.0%	29.3%	30.5%
すでに接種した	12.0%	10.9%	12.5%	12.0%	11.8%
接種したくない	11.6%	10.9%	11.6%	7.5%	10.8%
その他	3.6%	3.8%	3.6%	3.4%	3.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(9) 大学に対応を強化してほしいと思うこと、大学が行った学生支援について

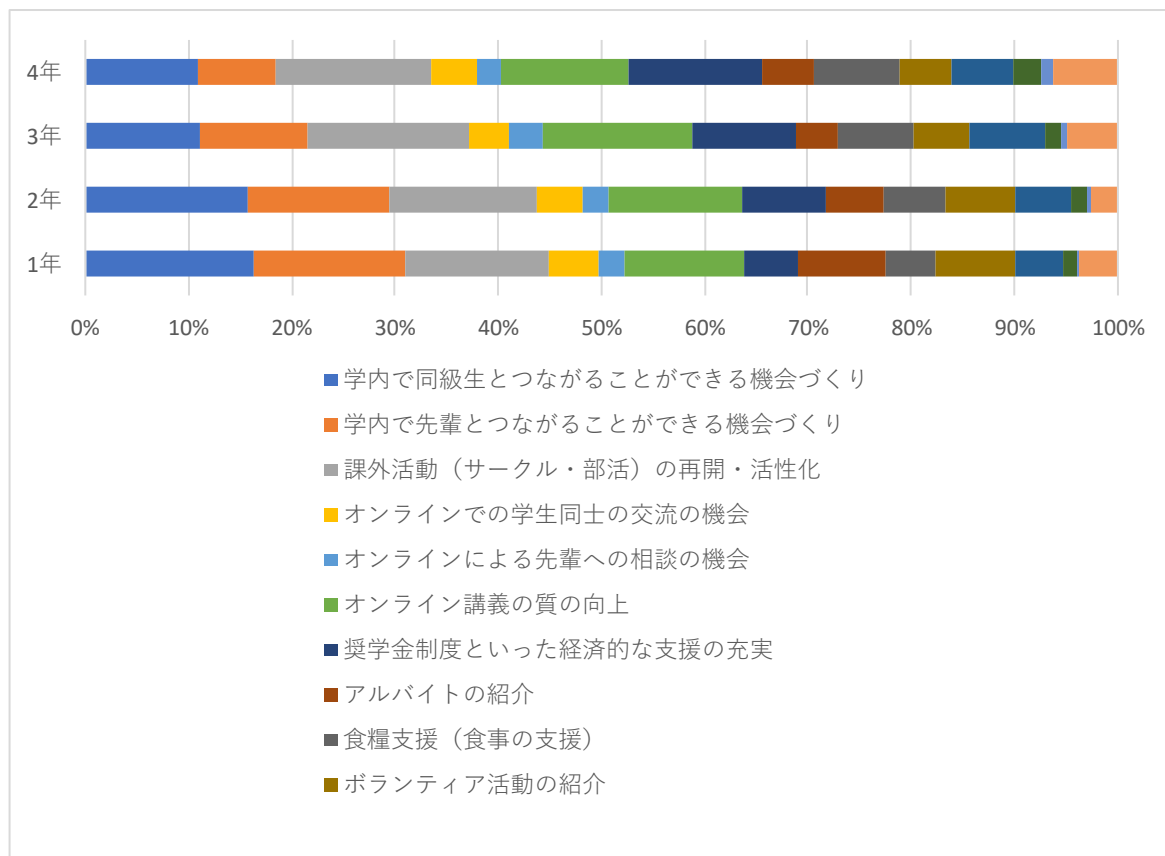
1. 大学に対応を強化してほしいと思うこと

- つながり、交流、課外活動を求める声が全般的に多い。

- 特に1年、2年でこの傾向が強い。
- オンライン講義の質の向上が2年生で最多。
- アルバイト紹介が1年で多い。

大学に対応を強化してほしいと思うこと（複数回答）

	1年	2年	3年	4年	総計
学内で同級生とつながることができる機会づくり	52.1%	50.9%	29.4%	26.0%	43.0%
学内で先輩とつながることができる機会づくり	46.9%	44.9%	27.9%	17.9%	37.9%
課外活動（サークル・部活）の再開・活性化	44.3%	46.3%	41.0%	36.0%	42.8%
オンラインでの学生同士の交流の機会	15.4%	14.2%	10.2%	10.5%	13.2%
オンラインによる先輩への相談の機会	8.3%	8.4%	9.1%	5.6%	8.1%
オンライン講義の質の向上	36.8%	41.7%	38.4%	29.3%	37.3%
奨学金制度といった経済的な支援の充実	16.7%	26.5%	26.4%	30.6%	23.4%
アルバイトの紹介	27.3%	18.0%	11.0%	12.0%	19.1%
食糧支援（食事の支援）	15.6%	19.7%	19.1%	19.5%	18.0%
ボランティア活動の紹介	24.3%	21.7%	14.7%	11.9%	19.7%
学内における感染予防の対策	15.2%	17.6%	19.2%	14.5%	16.6%
オンラインでの健康相談の機会	3.9%	4.9%	4.1%	6.6%	4.6%
その他・無回答	0.9%	1.2%	1.4%	2.4%	1.3%
特になし	11.5%	8.1%	13.1%	14.9%	11.5%
回答人数	2853	2001	1601	1182	7637



2. 2021年4月以降、大学が行った学生支援で利用しているもの

- 「特になし」が半分近いことが特徴。
- その他では生協食堂利用券や割引サービスが目立った。
- その他回答では、「大学は何もしてくれない」、「食糧支援を希望したが落選」、「教室開放は当然で支援とは



「思わない」といった声も複数あった。

- 相談室やカウンセリングの利用は案外少なく、もっと利用されてよさそうだ。

2021年4月以降、大学が行った学生支援で利用しているもの(複数回答)

	1年	2年	3年	4年	総計
オンライン講義を受けるための教室解放	35.9%	34.2%	25.0%	15.7%	30.0%
PCやモバイルルーターの貸し出し	4.1%	5.5%	4.4%	4.5%	4.6%
奨学金制度といったお金に関する支援	21.6%	19.0%	15.9%	14.5%	18.6%
食糧支援	12.8%	14.3%	12.4%	12.2%	13.0%
就活の支援	2.3%	4.0%	18.1%	25.6%	9.7%
保健管理施設の相談室やカウンセリング	5.0%	5.4%	5.0%	5.2%	5.2%
特になし	44.3%	43.6%	48.3%	48.6%	45.6%
その他	0.4%	0.8%	1.1%	0.8%	0.7%

<自由記入欄から>

- 大学内に設置されている機関や施設、支援を有効活用していきましょう！例えばもし、コロナによって精神的不安があれば、身近な先生や学校に頼ってみましょう！ 自身の手助けになるうえに、気分転換や将来の不安を和らげてくれます！ 分からないことだらけですが、お互い乗り越えていきましょう！ [高知県/文科系/女性/2年]
- 自分よりも困窮している学生が居ないか心配です。日本政府が五輪に突き進んでいく中、私達は「国民」の枠組みに入っているのか心配になるほど、我々大学生への支援が無い。たいへん心苦しいことです。政府は人の選り好みをして良いわけがありません。女性蔑視が顕著な今、子供の教育が軽視される今。政府に求められることは何なのか、今少し考えてみれば良いと思います。国会が閉会しましたが、やるべきことはまだあるのでは？と思う毎日です。富山県/文科系/女性/3年]
- 私は2年生になってから入学式が開かれた。1年生はほんとに友人もできず、人と会話をするのも怖くなった。今もその名残はあるし、大学卒業後のことを考えると不安でしかない。大学生活には制限ばかりかけられて去年からずっと時が止まっているのに、社会は色々動き始めているのが納得できない。一応日本の将来担っていく世代なのにその世代に対する支援も特になく、ただただ日々の生きる活力が搾り取られてる感覚しかなくて、正直こんな国のために働きたくないって思った時期もある。そのように思っている学生も中にはいるっていうことを知って欲しい。[埼玉県/文科系/女性/2年]
- コロナだからと言って何もできなくなったわけではないです。自分で工夫すれば何でもできます。それに、大学のスタッフや先生方が私たちのために朝早く、夜遅くまでシステムの調整や改善、支援をしてくださっています。それを無碍にするような無責任な行動は控えてください。「自分の大学から食事会やカラオケで患者が出た」それだけでバスに乗ったり電車に乗ると嫌悪感を示されます。ニュースには自分の名前だけではなく、大学名も出ることを自分の中でリマインドし続けてください。また、私が通っている大学は日本人と留学生が5:5の大学なので、日本人が感染しているのに、あの大学は外国人が沢山いるからだと何度も言われました。海外から来る学生の方が気を引き締めていたりしています。自分の選択が、大学やその他の学生を代表し、影響を与えていることを学校外では常に心に留めてください。[大分県/無回答/無回答/3年]

**学生の声** 自由記入欄より ※本文に記載しきれなかったもので特徴的・代表的な声を紹介する。

- 1年生・2年生の皆さんは入学してから授業がほぼオンラインで友達作りも大変な事かと思います。僕も入学してから数日間は友達が出来ませんでした。しかし次第に話しかけて来てくれた友達や自分から話しかけてから友達になった人もいたので、まずはオンラインでも対面でも話しかけてみる事が大切だと思います。優しく話しかければ相手も優しく答えてくれます。コロナ禍で大変な大学生活ですが一生に一度の大学生活を楽しんでください！

- 大学生活では、是非一つだけでもいいのでサークルに加入すべきだと思います。サークル活動は、大学生活を彩る掛け替えのない時間となります。今はコロナで活動できないじゃないか…と思うかもしれませんが、誤解しないでください。活動だけがサークルの存在意義ではありません。授業やバイトとは全く異なる新たな交友関係を築けることこそ、サークルの最大の存在意義だと僕は思います。サークルは同じ趣味を持った友人が得意やすいため、他の友人よりも友人関係が濃密になりやすいです。実際、僕が今最も仲の良い友人も、サークルで出会った他学部の友人です。たとえ今活動できていないサークルであっても、是非一度 Zoom の例会などに参加してみてください。思ってもみない新たな出会いが生まれ、日常に彩りを加えてくれるかもしれませんよ。
- コロナ禍でうち時間が増えた今、自分時間の過ごし方を見直せるチャンスだと思います。新しく趣味を見つけるもよし、勉強に励むもよし、自分の好きなやり方でこの辛い状況を乗り越えてほしいと思います。ちなみに私は読書を始めました！ 新たな発見がたくさんあり、充実した時間を過ごすことができるのでオススメです。
- 色々なコミュニティは参加してみましょ。私たちの時以上に自ら動かないと、友達づくりができない環境だと思います。LINE 上だけでつながるのではなく、オンラインであったとしても目と目を合わせて会話することが大切だと思います！ 沢山の輪を広げてほしいです！！あとは、自分と向き合う時間を沢山とりましょ。今後、就活をする際に、以前向き合っておいてよかったと思えると思います！ 大学生活は楽しいものです。このような状況下ではありますが、私たち自身で楽しくしていきましょう。
- コロナ禍と大学新入試を乗り越えて、夢だった大学に入学した。でも、高校二年で参加したオープンキャンパスのときに描いた未来と今の私はまったく違う。キャンパスをたくさんの友だちと歩くことも、昼食を仲良く笑いながら食べることも、休日に友だちや家族とどこかへで出掛けることも、ない。このきもちをどう伝えよう。くるしい。さみしい。もう、限界。だけど、今の私は正真正銘の私だ。私はこの時代を生きて強くなる。きっと、人の痛みに気づき、寄り添えるような優しい人に。だから、負けない。勝算はまだある。[京都府/文科系/女性/1年]
- 対面授業に初めて参加したとき、先生の声のトーンがまず違いました。聞き取りやすく、相互のやりとり(うなずくなど)があり、集中でき、対面ってこんなによいものだったのかと驚いた。もちろん、好きな時間に授業が受けられることは、時間の使い方の自由度が高くなるため、オンライン授業の利点であるが、正直 zoom を繋いでリアルタイムで行うタイプの授業は集中がどうしてもしづらい。他の課題のことが気になる。といったことがある。通学が楽になるという面でオンライン授業がいいという学生もいるが、専門科目等の単位を取るだけではない授業は対面であるべきかなと思う。こうした学生の声をもう少し耳に入れてほしい。反映してほしい。急に対面が再開になって通学定期で困っている人がいる。2年もオンラインの環境で、苦勞してきた大学生にアフターコロナを担う君たちがどうか言わないでほしい。真つ暗な将来を突きつけられているようで聞かたびに胸が張り裂けそうな気持ちになる。言葉にもつと責任を持ってほしい。先に対応できることがもつとあつたと思う。それなりの対応をしてほしい。高校生などは、授業があり楽しそうに歩いているのに、わたしたちは…と思うことがある。大学生を取り残さないでほしい。[大阪府/文科系/女性/2年]
- 「ある日の他のコマはオンライン授業なのに、一コマだけ対面授業がある」というような場合に、その一コマのためだけに通学するのが面倒。また、通学時間の関係上、対面授業の前後のコマのオンライン授業も大学で受けなければならないというナンセンスな事態も起きている。[香川県/理工系/男性/1年]
- 昨年度の4月から、徒歩15分のバイト先と必要最低限の買い物しかしてません。3、4年生は沢山お出かけしようと思い、1、2年生の時に沢山の授業を取ったにも関わらず、それが全ておじゃんになりました。ずっと家で友達にも会えない生活を送ってます。しかも、大学生が大学に行けていないことを知らない人が多いのもやるせない気持ちでいっぱいです。また、アルバイト先の塾では、小中高生の学校の行事がなくなったと悲しんでいるのを目の当たりにしています。私は行事でたくさんの思い出や学びを得ました。楽しみにしていた行事が軒並み中止にされているのです。延期ではなく、中止です。色々なものを奪われているにも関わらず、その中で楽しもうと頑張っています。大人ももう少し我慢できないんでしょうか。憤りを感じる日々です。このような状況

に陥った人に意見を言っているのは、同じ経験をした人だけだと思っています。当たり前のように行事があった大人が意見できる場ではないです。日々色々なことに疑問を抱えつつ、一刻も早い終息を願って自粛をし、最後の学生生活はどんどん終わりに近づいていきます。気にしすぎとか、そんなこと言うなら出かければいい、という人もいます。そういう人たちは家族の命がかかっているけど同じことを言うのでしょうか。コロナは沢山のものを奪っていきました。『当たり前』に近い生活にしていくためにも、もう少しみんなで頑張りましょう。[文科系/女性/4年]

- 「生きることに必死」先も見えない恐怖の中で何もしないわけにもいかず、一人で授業を受けて就職活動をする。画面越しには何十人、何百人と表示されていても、孤独を感じる。口では「頑張ろう」といっても、心は確実に少しずつすり減ってきているかもしれない。‘かもしれない’というのは、自分の心がすり減って生きているという事実から目をそらしているのかもしれない。[東京都/文科系/女性/4年]
- コロナの影響で、高校生の頃から夢だった韓国への交換留学が現地へ派遣される 2 週間前に中止になりました。この留学のために、試験勉強をしたりスピーチ大会に出場したり、韓国で一人旅をしたり、たくさん時間をかけてきた分、非常に辛い思いをしました。また、大好きだったアルバイトも留学を理由に退職済みで、コロナ禍で新しいバイト先を探すことも出来なかったため、収入が無くなりました。実家暮らしなので、生活に支障はありませんでしたが、やはり欲しい洋服などを我慢するという事は、大学生の私にとっては少し辛かったです。しかし、コロナを理由に言語の習得を諦めるということとはしたくなかったので、今年の 1 年間は独学で韓国語を学び続けました。その結果、目標だった試験に合格することができ、今ではその経験を活かして、日本や海外の方にオンラインで韓国語を教える活動をしています。また、この経験が就職活動をする際の話のネタになって、自分自身の強みを表すことができました。夢だった留学は叶いませんでしたが、自分なりに頑張った結果、新たな目標や道を切り開くことができたので、これからもコロナに負けずに頑張りたいと思います。[広島県/文科系/女性/4年]
- 人と会う機会が減っていて寂しいので、人手が足りてないのでお手伝いに来てほしい！といった誘いがあったら、出来る限り全て引き受けています。この間は小学生の校外学習のお手伝いをしました！初対面の人と関わるのがとても楽しいです。[大阪府/理工系/女性/1年]
- 先輩たちのほとんどは、ちゃんとコロナ禍で情報が得づらい皆さんの境遇を分かっています。だから、授業やサークル、アルバイトなど、知りたいことや気になることがあれば気軽に相談して大丈夫ですよ。[島根県/文科系/女性/3年]
- めっちゃ勉強してやっとなら大学生だ！ってなってこれはまじできつと思う。どんまい。でも今の 2 年生はまじでクソやったから、君らはまだ耐えてる方だと思います。特に一人暮らしの人は毎日に刺激がなくて、寝る前に色々考えちゃって鬱みたいになることもあると思う。実際俺もそうだったし。そんな時は地元の友達でも親でもいいから電話しよ。愚痴りまくろ。それでもだめだったら何か打ち込めるもの探そう。勉強しまくってめっちゃいい成績とってもよし。資格取りまくって資格コレクターになってもよし。アホみたいに読書してもよし。ゲームしまくるのもまあいいと思う。とにかく一人でも楽しめて、なおかつ話のタネになることしたらなんかおもしろいよ。知らんけど。肩の力抜いてゆるくないかと、状況も状況やし倒れちゃうよ。のんびりいこ。[滋賀県/文科系/男性/2年]
- オンライン上で友達をつくらったり、通話出来る人が出来たりすると過酷な一人暮らしがマシになるよ！ 私はものすごく 1 人が好きで話すのが苦手な人だから、一人ぼっちなんて耐えられると思ってたけど、実家から 700 キロ離れたとこに上京して家族とも話せないし、課題も山ほどで、ずっとオンラインで同級生と顔を合わせることすらない状況が 1 年続いたら、さすがに苦しかった、誰にも、外にもほとんど出れなかったから街ゆく人にすら認識されないことがとても怖くなって、たまーにくる宅配便のおじさんとのたわいの無い話だけが唯一の楽しみだったくらい笑笑 だんだん誰かの、人間の話し声を聞きたくなってきて、オンラインが出来て通話をするようになってものすごく、本当にものすごく救われました。[埼玉県/文科系/女性/2年]